

環境経済学

2 units (selection) 3rd-year(2nd semester)

Kozo Mayumi · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target 経済科学における分析的な手法を学ぶ。

Outline 標準経済学の接近法を学習した後、ジョージェスクレーゲンの生物経済学と社会メタボリズムについて理解を深める。

Keyword エネルギー, 環境, 鉱物資源, ジョージェスクレーゲン

Goal 分析的な思考を身につける。

Schedule

1. 環境経済学:導入
2. 標準経済学の効率性とは?
3. 標準経済学の鉱物資源の配分原理とその批判
4. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:導入
5. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:消費者選好理論
6. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:エネルギーとエントロピー
7. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:鉱物資源の重要性
8. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:モデルとシミュレーション
9. ジョージェスクレーゲンの生物経済学:総括
10. 社会メタボリズム:導入
11. 社会メタボリズム:エネルギー分析の手法
12. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの導入
13. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの理論
14. 社会メタボリズム:多階層エネルギー分析モデルの応用
15. 定期試験
16. 総括

Evaluation Criteria 通常の試験の結果のみで判断する。平常点などというものはない。プロセスよりも結果だけが大切であることを理解せよ。

Textbook 教科書は指定しない。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220362>

Contact

⇒ Mayumi (1316, +81-88-656-7175, mayumi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 月曜日午後、メールであらかじめ連絡してください。)